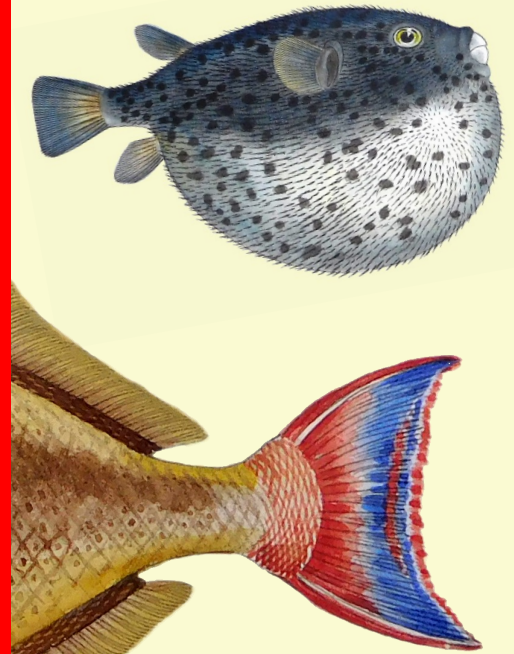


# 伊藤熊太郎

幻の魚類博物画家



一般公開  
入場無料

2017年2月8日 (水) - 3月10日 (金) 10:00-16:00

東京海洋大学 品川キャンパス図書館 1階 展示ホール

※土曜、日曜、2月28日 (火) 閉館

【関連イベント1 講演会「幻の魚類博物画家 伊藤熊太郎」 講師：荒俣宏】

日時：2017年2月19日 (日) 13:30~15:00 場所：東京海洋大学品川キャンパス白鷹館

定員：350名 参加申込：1月11日 (水) 正午より受付開始

申込方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。



①Web申込：ホームページの申込フォーム、もしくはこちら↑のQRコードよりお申し込みください。

②FAX：【お名前、よみがな、連絡先 (FAX、電話番号)】を記入し、末尾の問合せ先FAXにお送りください。

申込受付後に確認メールまたはFAXを送ります。

【関連イベント2 展示案内 (展示内容についてスタッフがご案内します/約15分)】

日時：2017年2月19日 (日) 15:20~ 場所：東京海洋大学品川キャンパス図書館 1階 展示ホール

定員：先着30名 ※希望者多数の場合は数回に分けて行います。



主催：東京海洋大学附属図書館 協力：荒俣宏、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」、平凡社、  
東京海洋大学魚類学研究室、富山大学附属図書館医薬学図書館

アクセス：JR・京浜急行品川駅港南口 (東口) から徒歩約10分 東京モノレール・りんかい線天王洲アイル駅から徒歩約20分

問合せ：東京海洋大学附属図書館情報サービス第一係 〒108-8477東京都港区港南4-5-7 URL：<http://lib.s.kaiyodai.ac.jp>

TEL：03-5463-0444 FAX：03-5463-0445 e-mail：jo-joho1@o.kaiyodai.ac.jp

## 展示のみどころ



伊藤熊太郎（いとう くまたろう）は明治から昭和にかけて活躍した博物画家。写真が未発達だった時代に多くの精緻な魚類画を、図鑑や学術文献のために描き、魚類学の発展に貢献しました。また、1900年代初期に行われたアメリカのアルバトロス号によるフィリピンでの海洋調査に絵師として参加。色鮮やかな多数の魚類画がスミソニアン博物館に残されています。

熊太郎は、日本ではほとんど無名ですが、本企画展示「図鑑で楽しむ江戸前の海」開催中の2016年8月に、展示中の原画をきっかけとして、熊太郎が描いたスケッチ帖6冊、原画1,261枚が荒俣宏氏により発見されました。

熊太郎の絵がこれだけまとまって発見されるのは初めてで、これは明治期以降の魚類博物画の国内有数のコレクションと言えます。

本学ではこの発見を広く紹介するために展示の入れ替えを行い、魚類博物画研究で著名な荒俣宏氏による講演会を開催します。

幻の魚類博物画家・伊藤熊太郎の素晴らしい絵をこの機会にぜひご鑑賞ください。

主な展示品：

- スケッチ帖6冊（合計472ページ）＊新発見資料
- 原画1,261枚 ＊新発見資料 このうち数点を展示
- 伊藤熊太郎の魚類図を掲載した書籍・学術文献 26冊

## 講師プロフィール



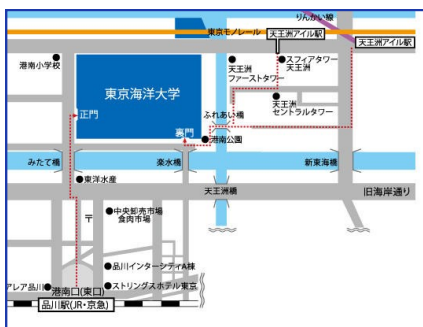
荒俣宏（あらまた ひろし）

1947年東京生まれ。博物学研究家、作家。慶應義塾大学法学部卒業。

幻想文学、図像学、博物学、産業考古学、妖怪学など幅広い分野で著作活動続ける。

著書に「帝都物語」（角川書店）、「大博物学時代」（工作舎）、「図鑑の博物誌」（リプロポート）、「世界大博物図鑑 第2巻 魚類」（平凡社）、「磯魚ワンダー図鑑」（新書館）など多数。

## アクセス



▶ JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分

▶ 東京モノレール天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分

▶ りんかい線天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分